

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	学年 1 学年
授業者氏名 沼田 祐里奈	
題材名 「ぼく・わたしの パタカラ体操 はどうかな？」	
主 眼 全校集会や研修会で「パタカラ体操」や「いーあーいー」についての関心をもった子どもたちが、自分たちの口の開き方や舌の動きの様子に着目し、1日に1回のパタカラ体操、朝と帰りの「いーあーいー」の運動を通して、口の周りの筋肉をほぐし、相手にはっきり伝わるような発音の仕方を学ぶことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） ・パタカラ体操の動画 ・担任の見本	
成 果 ・動画を見ながら真似をして、改めて口の周りの筋肉を意識して使うようにする姿が見られた。 ・担任からは、動画のどの部分についてしっかり見てほしいのか、見るポイントについて示した。 ・担任の演示も、動画となるべく同じになるように工夫した。	
課 題	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	学年 2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 「ぼく・わたしの パタカラ体操 はどうかな？」	
主 眼 全校集会や研修会で「パタカラ体操」について関心をもった子どもたちが、自分たちの口の筋肉の動きや舌の動きの様子に着目し、お口のトレーニングの仕方がうまくいっているのかを画像にとって確認することを通して、歯を大切にすることにつながる「パタカラ体操」の大切さや必要感についての知識や態度を培うことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) *クロームブック (ロイロノート) 画像 *夏休みチャレンジカレンダーカード (ふり返し用) *学習カード (パタカラ体操の取り組みについて、考えていくカード)	
成 果 <学習カードにまとめたもの> ①パタカラ体操を夏休みなどに積極的に行っている→ 0点～50点<16人> →60点～80点<8人> →90点～100点<4人> ②普段の歯みがきを意欲的に取り組んでいる → 0点～50点<3人> →60点～80点<9人> →90点～100点<16人> ③1回目の画像を見て、自分に何点？ → 0点～50点<3人> →60点～80点<10人> →90点～100点<14人> ④パタカラ体操を練習した後の画像を見て、何点？→ 0点～50点<2人> →60点～80点<2人> →90点～100点<21人> ・学習カードの点数からわかるように、筋肉や舌の動きがよくなっていることを実感している児童が多くいた。1回目の画像より、練習後の画像の方がトレーニングの成果を感じている児童が多いので、継続することが大事だと感じた。 ・手鏡ではなく、画像で自分の動きを確認できたことで、何度もふり返りができて、「ぱ」「た」「か」「ら」のどの部分の動きが課題なのかを、自ら見つけることができていた。	
課 題 ・パタカラ体操が歯の健康とどう関わっていくかを考えるところまでいかず、まとめることができなかった。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「 夏休み中の歯みがき・パタカラ体操・「いーあーいー」の取り組みを振り返ろう 」	
主 眼 夏休み中に、チャレンジカレンダーに取り組んだ子どもたちが、歯みがきは比較的よくできたけれど、パタカラ体操や「いーあーいー」はあまりできなかった事実と理由に着目し、パタカラ体操や「いーあーいー」を生活の中で習慣化できるような具体的な取り組みについて班の友だちと相談し、クラス全体で共有することを通して、自分が毎日できそうな取り組みを見つけて実践していこうとすることができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・夏休みチャレンジカレンダー (各自) ・「歯みがきは毎日できたけれど、パタカラ体操や「いーあーいー」は忘れてしまったり、面倒くさくなったりしてやらなかった」という、クラスの友だちが語る正直な思い。	
成 果 ・以下のような具体策が出され、早速学校や家で実際に試すことができた児童が多くいた。 ①～するときに「いーあーいー」をすると決める。 例：冷蔵庫を開けたら「いーあーいー」をする。 朝や帰りの「いってきます」「ただいま」の後に、「いあい」をする。など ②朝の会の歌を歌う前に「パタカラ体操」をする。 ・保健係が事前にぱたから体操 (YouTube) を準備して流す。 ・話し合いの中で、パタカラ体操は、できた・できなかったに関わらず、拍を覚えて音楽をかけなくてもできるという児童が多くいることが分かった。 ・話し合いの翌朝から、朝の会の歌の前にパタカラ体操を毎日継続できている。 ・パタカラ体操をすることで、口の周りの筋肉がほぐれて歌いやすくなったと感じる児童が多くいた。	
課 題 ・パタカラ体操や「いーあーいー」の効果を実感するには時間がかかる。学級で取り組んでいるパタカラ体操だけでなく、「いーあーいー」も継続して取り組んでいけるよう、定期的に自分の取り組みを振り返ったり、学級で「いーあーいー」をする機会をつくったりして、習慣化できるようにしていきたい。また、現状を動画に録って残し、いつでも見返せるようにしておくことで、自分の変化に気づき、効果を実感できるようにしていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯と口の健康」(総合的な学習の時間)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の健康」に対する主体的に学習に取り組む態度を高めた子どもたちが、現在の自分の歯に着目し、歯の本数(乳歯・永久歯)を数えることを通して、自分の歯(や口の健康)への興味や関心を培うことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報:実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 次時で学校医(歯科衛生士)による歯科指導につながる学習であること	
成 果 自分の歯を、時間をかけて観察した経験が少ないため、楽しみながら学習していた。次時に学校医の方が来ること(学習材)が、観察を丁寧にやることへの動機づけになっていた。	
課 題 手鏡で自分の歯をみたときに、「乳歯」と「永久歯」の判断が難しい場合があった(見た目、記憶の曖昧さ)。「歯の大きさ」で判断させたが、見分け方の指導が必要だった(専門家に事前に聞くなど)。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	学年 5 学年
授業者氏名 赤堀万里子	
題材名 「 詩を楽しもう 口をしっかりと動かして 」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 夏休みにパタカラ体操や「いーあーいー」を実践してきた子どもたちが、詩の読み方を工夫する活動で、口の形や発音の仕方を意識するために音読の前にパタカラ体操や「いーあーいー」でウォーミングアップすることを通して、発音や声の大きさを意識して音読することにつなげる。	
学習材 パタカラ体操の 動画 パタカラ体操・「いーあーいー」の説明が書かれているプリント (歯みがきカレンダー裏)	
成 果 音読前に、パタカラ体操の動画に合わせて口を動かしたり声を出したりしたことで、普段よりも声が良く出せていた。口を動かすことを意識して音読することに少しつながっていた。音楽集会でも行うことになったので、学習活動とパタカラ体操が少しつながったように感じる。	
課 題 音読の単元は時々しかないので、ほかの活動とどうつながるかを考えていく。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「 夏休み中の歯にかかわる取組を振り返ろう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 夏休み中に、チャレンジカレンダーに取り組んだ子どもたちが、パタカラ体操や「いーあーいー」の実践を怠った理由に着目し、パタカラ体操や「いーあーいー」の目的や効果を再確認し、クラス全体で共有することを通して、今後の実践に役立てようとする事ができる。			
学習材 ・夏休みチャレンジカレンダー			
成 果 ・夏休みチャレンジカレンダーをふり返ると、毎日3回の歯みがきは毎日のように行っている児童が18人いるのに対して、パタカラ体操と「いーあーいー」を毎日のように行った児童はわずか9人だったことを受け、その理由を考えた。目的や効果を感じている児童が少なく、必要感をもっていないことへの気づきから、全体で再確認したことで、自分の健康を自分で守るという意識をもって今後の実践につなげることを期待している。			
課 題 ・日常生活の具体行動のなかで、適宜声かけをしていく必要がある。			